

令和2年度 天理市自立支援協議会活動報告

<連絡先>

天理市健康福祉部社会福祉課

〒632-8555

天理市川原城町 605 番地

TEL 0743-63-1001

FAX 0743-63-5378

HP <http://www.city.tenri.nara.jp/>

1. はじめに

天理市自立支援協議会とは・・・

「障害のある人が安心して生活できる地域をつくる」という目標を持つ人達が集って、どう支援していくのかを考える場です。参加者が常に目的意識を持ち実効性のあるものを目指して気持ちを一つにして取り組んでいます。

天理市自立支援協議会のしくみ

天理市自立支援協議会は、障害のある当事者とさまざまな部門で障害のある人を地域で支える実務関係者で構成され、情報共有や地域課題の解決に向けて話し合っています。

- ① 全体会・・・課題を提起し、解決に向けての方策を検討し、課題の振り分けと情報の共有を図る。
- ② 定例会・・・全体会の運営、困難事例・地域課題を課題ごとに内容を議論し、どの部会で解決するかなどを整理する。
- ③ 専門部会(必要に応じて随時開催)・・・課題解決に向けて具体的な施策を考える。
- ④ 事務局・・・天理市社会福祉課障害福祉係

2 令和2年度全体会及び定例会、専門部会の活動報告

◆ 令和2年度全体会 中止

課題を提起し、解決に向けての方策を検討し、課題の振り分けと情報の共有を図る。
今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止しました。

◆ 定例会

全体会の運営、相談支援の内容報告、困難事例・地域課題を課題ごとに内容を議論し、どの部会で解決するかなどを整理する。

6月 19日(月)	10月 26日(月)	1月 25日(月)
-----------	------------	-----------

◆ 専門部会

課題解決に向けて具体的な施策を考える。

◇ 精神障害者部会

8月3日(月)

10月5日(月)

12月7日(月)

天理市自立支援協議会
精神障害者部会の活動報告

こもれば 梅本

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、6月に予定されていた部会は中止とした。8月、10月、12月参加者は各機関1名とし、事前に文書で近況報告を提出してもらい、短時間開催とした。部会ではコロナ禍での近況報告、情報共有を図り、課題を共有して意見交換をした。コロナ禍での退院支援の難しさや、訪問時の感染症対策、感染症への不安から通院や通所が出来なかったケース、家族が自宅で過ごす時間が増えたことによる虐待の増加などが話題としてあがった。さらに、実際に当事者が感染した際には県が指定する精神科のある病院へ入院となるが、家族が感染したときに、自宅で一人過ごすことになる当事者へどのような支援ができるのかなど感染時の対応も部会の中で確認をした。

また、今年度より天理市の地域生活コーディネーターをされている北部包括支援センターの職員が部会メンバーとして参加することとなった。各機関が連携し、天理市の当事者が豊かな地域生活を送れるよう到来年度も活動をしていきたい。

◇ 就労支援部会

7月27日(月)

10月26日(月)

天理市自立支援協議会 ～就労支援部会報告～

なら東和障害者就業・生活支援センターたいよう
村上 仁

～部会の動きについて～

○わくわくショップ

例年では、キャンパスサポート天理(株)様、天理市アーケード商店街様のご協力の下、毎月25日26日に「てんだり～colors」の隣で「わくわくショップ」販売会を行う事となった。毎回1、2事業所で参加していたが、コロナウイルス感染拡大の状況下であったために、今年度は中止とさせて頂いた。

～「わくわくショップ」としてのイベント出店について～

こちらもコロナウイルスの影響もあり(地域のイベント中止が相次いでいる等)今年度は参加させて頂くイベントはありませんでした。

○部会の開催頻度とテーマについて

《開催頻度》 今年度は2回(7月27日、10月26日)開催

《テ マ》

◎各事業所から、コロナ禍での状況について情報交換

各事業所が、このコロナ禍の状況の中で、どのような運営をされているのか?感染予防対策はどのようにしているのか?等を話し合った。

- ・通所利用の時間短縮や緊急事態宣言時の休所、それに伴う利用者の家庭での様子を確認するために自宅訪問や電話での様子確認等。
- ・授産事業の収益の減少。
- ・検温、手洗いうがい等の徹底、建物内の消毒除菌対応。
- ・ショートステイなどの新規利用者の一時受け入れ中止。現在は感染予防対策をしながら随時対応されている。

○その他 情報交換

- ・障害者雇用率含めた雇用状況についての説明
- ・制度に関する最新情報の共有